

国際栄養サミット2020に向けて



【日時】 令和元年10月30日（水）
13:30～16:30（開場：13:10）

【場所】 TKP赤坂駅カンファレンスセンター

東京都港区赤坂2丁目14-27 国際新赤坂ビル 東館 14F ホール14B（裏面参照）

【プログラム内容】

■開会挨拶（13:30～13:40）

食品産業センター 理事長 村上秀徳 / 農林水産省 食料産業局 企画官 黒岩卓

第一部（13:40～16:00）

■国際栄養サミット2020の概要 外務省 国際協力局国際保健政策室長 鷲見学

■世界に発信すべき日本の栄養 神奈川県立保健福祉大学学長 中村丁次

（「成長のための栄養サミット2020（仮称）」に係る有識者会議座長）

<休憩>

■世界の栄養課題と潮流 国際協力機構（JICA）国際協力専門員 野村真利香

■栄養分野における日本企業への期待 ビル&メリンダゲイツ財団 Kamel Chida

第二部（16:00～16:30）（Deputy Director for Private Sector Partnership for Nutrition）

■パネルディスカッション及び講師との意見交換

■質疑応答 ※講演タイトル及び講師は都合により変更することがあります。

主催：一般財団法人 食品産業センター（平成31年度農林水産省補助事業）
（栄養改善事業推進プラットフォーム（NJPPP）事務局）

TEL: 03-3224-2337/ E-mail: njppp@shokusan.or.jp

Webサイト: <http://njppp.jp/>（※最新情報を随時更新致します。）

定員：150名（※定員になり次第、申込みを締め切らせていただきます。）

対象：「国際栄養サミット2020」や栄養改善ビジネスに関心を有する方等

参加費：無料

参加申込：裏面の申込書にご記入の上、FAXまたは
E-mailにて、もしくはWebサイト

[https://fs223.formasp.jp/m548/
form1/](https://fs223.formasp.jp/m548/form1/)からお申し込みください。



【セミナーの趣旨】

現在、栄養改善に向けた国際的な取組が複数進行している。2012年5月WHO総会で「Global Nutrition Target 2025」が掲げられ、2015年9月の国連総会で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」では、「栄養の改善」に係る2030年までの目標が掲げられた。また、2016年4月の国連総会では、2016年～2025年を「栄養に関する行動の10年」としている。2020年は、これらの国際目標の中間評価を行う重要な年と位置付けられている。

一方、2013年に英国政府主導で開催された「成長のための栄養サミット(N4G)」では、2020年までに、少なくとも5億人の妊婦及び2歳未満の子どもに効果的な栄養の介入を施し、少なくとも2,000万人の子どもを発育阻害から救い、母乳育児を増やし、重度急性栄養不良の治療を増やすことによって、170万人の5歳未満の子どもの命を救うことを目標に掲げている。

こうした中、日本政府は、2014年健康・医療戦略において「新興国・途上国を含む各国の栄養改善のため、官民連携を通じた包括的ビジネスを含む事業の国際展開を進める」とこととし、官民連携の栄養改善事業推進プラットフォーム(NJPPP)を2016年に設立した。

こうしたことを受け、東京で開催される「国際栄養サミット2020」に日本の多くの民間企業・団体の参画が望まれる中、栄養サミットを幅広く周知すること等を目途として、「国際栄養サミット2020に向けて」をテーマとしたセミナーを開催することとした。

【会場地図】



参加申込書

参加申込先 FAX : 03-3224-2397 E-mail : njppp@shokusan.or.jp

氏名 :

所属先名 :

電話番号 :

E-mail アドレス :

お問い合わせ先 : (一財) 食品産業センター 海外室 山口

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル 3階

TEL: 03-3224-2337 / E-mail : njppp@shokusan.or.jp